

第 1 平成14年度決算の状況

1 決算のあらまし

本県の平成14年度当初予算は、公債費等、義務的経費の増加が予想される厳しい財政状況のなかで、一般会計予算の前年度当初予算との比較では、対前年度比1.1%の減となりました。

このような中であっても、2月補正予算では、「構造改革推進型公共投資の促進」等のため国が編成した補正予算に対応し、緊急に実施する必要がある事業などについて、それぞれ所要の措置を講じました。

その結果、平成14年度決算の状況について、一般会計、特別会計及び企業会計ごとに収支状況をみますと、表1のとおり、一般会計における決算は、歳入は、前年度に比べて5.1%減の約7,831億円、歳出は、前年度に比べ4.5%減の約7,626億円となりました。このため、歳入と歳出の差引額である形式収支は、204億円の黒字となり、形式収支から翌年度に繰越すべき財源、約134億円を差し引いた実質収支は、約70億円の黒字となっています。

また、特別会計では、歳入は前年度に比べ12.2%減の約388億円、歳出は前年度に比べ14.6%減の約316億円となり、形式収支は約71億円の黒字、実質収支は約54億円の黒字となっています。

次に、企業会計の決算は、収益的収支における収入は、前年度に比べ1.4%減の約449億円、支出は前年度に比べ1.7%増の約441億円となり、差引額は約8億円となっています。資本的収支における収入は、前年度に比べ36.6%減の約98億円、支出は前年度に比べ8.6%減の約228億円となり、差引額はマイナス約140億円となっています。

なお、各会計ごとの平成4年度からの決算の推移については、巻末資料1を、また一般会計と特別会計における実質収支額の推移については巻末資料2をご覧ください。

表1 3会計決算収支状況

(単位：千円、%)

	一 般 会 計					特 別 会 計				
	歳 入		歳 出		差引額 A - B	歳 入		歳 出		差引額 A - B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成13年度	825,241,278	2.9	798,828,561	2.3	26,412,717	44,143,895	3.5	37,064,986	6.5	7,078,909
平成14年度	783,052,221	5.1	762,608,997	4.5	20,443,224	38,760,860	12.2	31,641,836	14.6	7,119,024

	企業会計（収益的収支）					企業会計（資本的収支）				
	収 入		支 出		差引額 A - B	収 入		支 出		差引額 A - B
	決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率		決算額 A	伸び率	決算額 B	伸び率	
平成13年度	45,502,936	2.0	43,369,253	0.0	2,133,683	15,472,188	7.7	26,091,003	3.3	10,618,815
平成14年度	44,877,424	1.4	44,085,665	1.7	791,759	9,808,895	36.6	23,844,128	8.6	14,035,233

(注) マイナスを「 」印で表示し、以下、同様に表示します。

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)